

2024年度

大学院入学者選抜要項

経済学研究科・経済政策専攻

修士課程
博士(後期)課程



北海学園大学

目 次

はじめに

修士課程

選抜試験科目表

○ 募集人員／出願資格／出願期間	1
○ 出願書類／入学検定料	2
○ 出願場所／選抜方法／試験日・試験会場／試験科目・時間	3
○ 合格発表／入学手続	4
○ 学費	5
○ その他	6
○ 2023年度大学院経済学研究科修士課程テーマ一覧(参考)	7
○ 2023年度大学院経済学研究科修士課程(特殊講義・演習)担当者(参考)	8

博士(後期)課程

○ 目的・募集人員／選考／授業時間／修業年限／修了要件	11
○ 出願資格／出願期間／出願書類	12
○ 入学検定料／出願場所／選抜方法／試験日・試験会場／試験科目・時間	13
○ 合格発表／入学手続／その他	14
○ 学費	15
○ 長期履修制度	16
○ 2023年度大学院経済学研究科博士(後期)課程テーマ一覧(参考)	17
○ 2023年度大学院経済学研究科博士(後期)課程(特殊研究・演習)担当者(参考)	18

出願書類

○ 出願書類(本学所定の用紙) 一覧	21
○ 入学検定料振込用紙	23
○ 出願書類(本学所定の用紙)	25

北海学園大学大学院経済学研究科 修士・博士課程において研究を志すみなさんへ

本学経済学研究科経済政策専攻修士課程は、戦後日本の高度成長の見直しが求められはじめた1970（昭和45）年に、新しい視点に立った北海道開発という地域社会のニーズに応えるため、本道私大最初の大学院として設置されました。

以来53年を経た本研究科は、経済学修士の学位を209名に授与するとともに、13名に経済学博士の学位を授与しました。この間、大学院修了者の中からは、大学教授や准教授・講師の職に就いた者もいます。また高等学校教員や公務員、さらには税理士などとしても活躍し、とくに近年、外国人の受け入れや社会人のリカレント教育の導入によって、社会的にも極めて高い評価と期待が本研究科に寄せられています。

このような歴史と実績を有する本学大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程は、狭義の経済政策のみならず、経済の理論や歴史、統計など、経済学に関わる幅広い教授スタッフを擁し大学院生の指導に当たっています。標準修業年限2年の修士課程で32単位を修得して修士論文の審査と試験に合格すれば、修士（経済学）の学位を授与されます。この学位取得は博士（後期）課程に進むための条件になりますが、修士の学位を取得することによって、中学校・高等学校教諭専修免許状の取得や、資格試験のうち一部科目の免除が可能となります。

1995年、本研究科は、経済政策専攻の修士課程に引き続く課程として、標準修業年限3年の博士（後期）課程を増設しましたが、このとき、すでに修士課程において導入している全期間夜間履修を含む「教育方法の特例」を博士（後期）課程にも導入しました。大学などにおける自立的な研究者のみならず、地域社会の専門分野において必要な高度な研究能力と豊かな学識を有する人材を養成することによって、現代的・社会的期待に応えようとしているからに他なりません。博士（後期）課程のカリキュラムは、現代的な「地域研究」の成果を取り入れ地域社会に立脚しながら、国際化した経済問題を理論的・実証的に分析するとともに、総合的経済政策を具体的に立案・計画する研究能力の向上を志向して編成されました。博士（後期）課程においては、14単位を修得して博士論文の審査と試験に合格することにより博士（経済学）の学位が授与されますが、博士論文では当該分野における高い学術的価値のある内容が求められますので、その点についての明確な認識が必要と言えます。

また2012年より社会人特例学生を対象に長期履修制度が設けられました。この制度は標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に課程を履修することを希望する社会人特例学生に対し、履修期間を修士課程で3年、博士課程で5年の長期履修を認める制度です。経済的負担は標準修業年限の場合と変わりませんので、勤務の関係で研究時間を十分にとれない社会人特例学生に薦めたい履修制度です。

大学院の生活では、院生に独自の研究室と一定の図書費・研究費が与えられるほか、優秀な院生には学術研究を奨励・援助するために本学独自の奨学金の制度があり、また、独立行政法人日本学生支援機構から大学院奨学金が選考の上、貸与されます。さらに、大学院生の教育能力の向上にもつながるティーチング・アシスタント制度も導入しております。

1994年には本研究科と北海道大学大学院経済学院との間に、さらに2015年からは北海道大学農学院および北海商科大学大学院商学研究科との間で「単位互換協定」が結ばれ、研究指導体制の一層の充実を実現しました。また、数多くの「地域研究」をすすめて優れた業績を残している本学開発研究所における調査・研究活動との連携によって研究成果を挙げることも期待されます。

大学院においては、明確な研究意欲と十分な準備、そして強い心がまえと持続的努力が必要となります。学問研究に高い志を抱いているみなさんの受験を心から熱望してやみません。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

経済学研究科は、経済政策専攻の修士課程および博士（後期）課程を設け、経済の理論・歴史・政策全般について精深な学識と研究能力を養い、学術の発展と社会の各分野における問題解決に積極的に貢献しうる能力を有する人材を養成することを目的としています。

修士課程においては、以上の目的に照らして、学部卒業レベルの知識・学力を有する以下のような人を求めています。

- ・現代における政策的諸課題に関する本質的論点をみきわめ、経済に関する専門的知識にもとづいて、みずから課題の解決に貢献しようとする人。
- ・経済に関する専門的知識にもとづいて地域社会の諸問題を分析し、みずから地域の発展のための実践的担い手となろうとする人。
- ・経済の理論・歴史・政策という伝統的研究分野を学び、経済に関する専門的知識にもとづいて社会に関する理解を深めたいと考える人。

博士（後期）課程においては、以上の目的に照らして、修士課程修了レベルの知識・学力を有する以下のような人を求めています。

- ・経済に関するより高度な専門的知識にもとづいて、現代における政策的諸課題や地域社会の諸問題等に関する独創的・先進的な研究を遂行し、自立した研究者として学術研究の発展に貢献し、あるいはまた、高度専門職業人として社会の発展に貢献しようとする人。

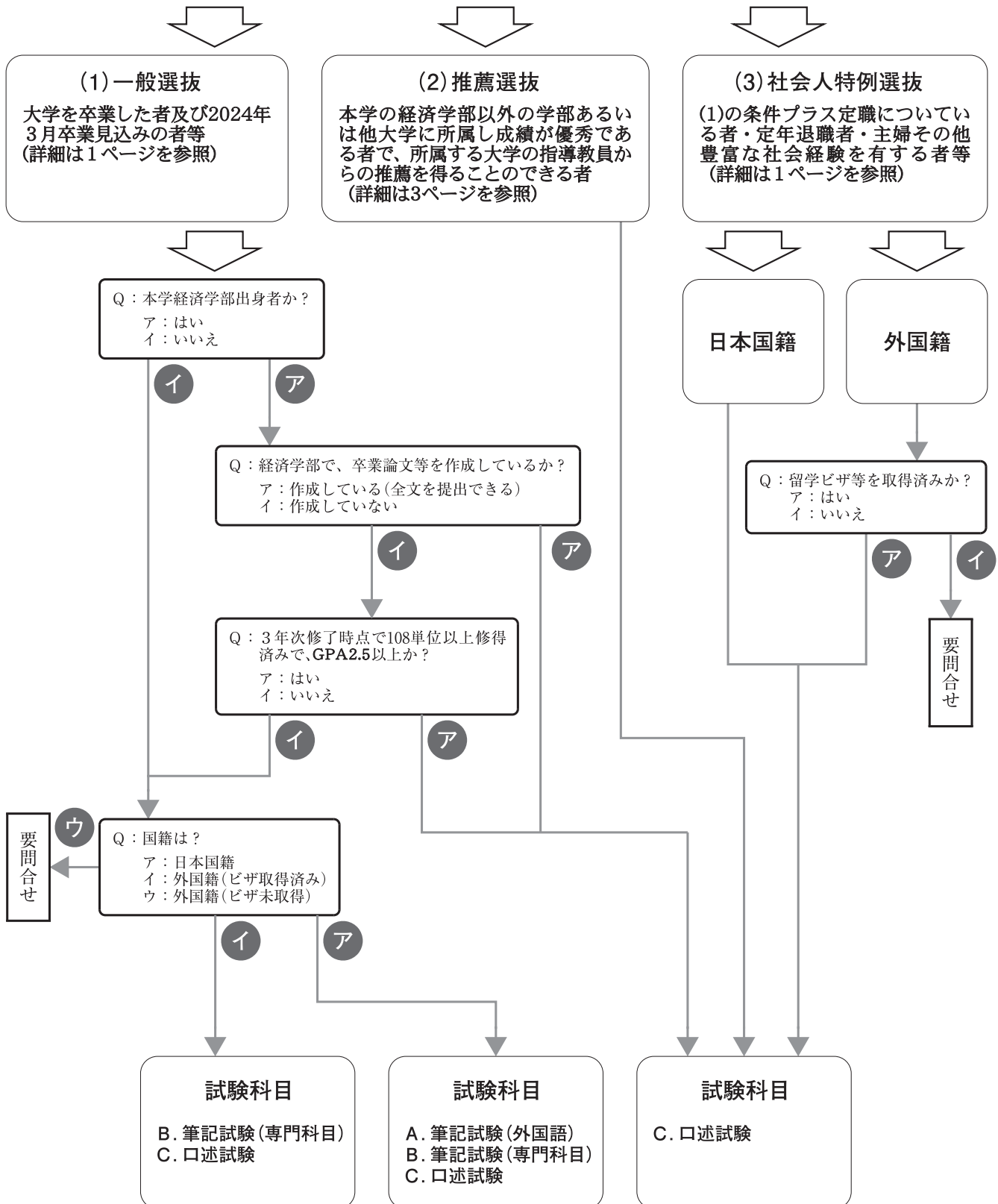
大学院経済学研究科

経済政策専攻

修士課程

大学院経済学研究科・経済政策専攻 修士課程
選抜科目表

修士課程・志願者



1 募集人員

研究科	修士課程	定員
経済学研究科	経済政策専攻	15名*

* 社会人特例選抜を含む

* 国費留学生の手続および選考については別に定める内規による

2 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすもの）を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者又は学士の学位を取得見込みの者

ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が初等教育から通算して16年に満たない国において大学教育を修了した者は、日本国内または国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関の研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上）研究に従事した場合には、在籍した期間が加算され、入学資格の要件を満たすことになる。

- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

出願資格⑤による出願予定者は、大学院修士課程入学資格事前審査のため、「入学資格事前審査申請書」「履歴書」「最終学校の卒業証明書」「自己推薦文」「論文」を提出すること。受付開始日の2か月前までに、経済学研究科事務室まで問い合わせること。

(2) 推薦選抜

大学を2024年3月卒業見込みの者。

(3) 社会人特例選抜

2024年4月において定まった職業を有する者（自営業従事者を含む）、又は定年退職者、主婦、その他豊富な社会経験を有する者で一般選抜の資格を満たす者。

- * 出願時において、通学圏（札幌圏）外に居住している者は、受講科目の開講曜日の確定が4月中旬になることや専門研究に必要な予習時間の確保等を考えた場合、入学後は通学圏（札幌圏）に転居することが望ましい。

3 出願期間

	受付開始日	受付締切日
第Ⅰ期募集	2023年8月28日(月)	2023年9月11日(月)
第Ⅱ期募集	2024年1月10日(水)	2024年1月17日(水)

窓口受付時間：平日 9：00～16：00（12：40～13：40は除く）

土曜日 9：00～12：40（日曜日は受付しない）

- * 郵送出願の場合は「書留」とし、必ず受付締切日までに到着するよう郵送すること。

4 出 願 書 類 (一旦提出した出願書類及び入学検定料は理由のいかんにかかわらず返還しない。)

出願者は、次の書類を一括し、次項5の要領で入学検定料を振り込みの上提出すること。

*** 入学後の指導教員については入学時に指導体制を勘案の上、調整して決定するが、出願前に指導を希望する教員に会い、研究計画書や語学能力などについて相談しておくこと。**

- (1) 入 学 願 書^{*1} (本学所定の用紙)
- (2) 志願理由書 (本学所定の用紙)
- (3) 研究計画書 (本学所定の用紙)
- (4) 卒業証明書または卒業見込証明書
- (5) 成績証明書
- (6) (本学経済学部出身者のみ) 卒業論文等の全文 (2部)
卒業論文等とは、卒業研究・ゼミナールⅢの論文、卒論またはこれに準ずるもの(審査及び成績評価のため提出中のものを含む)とする。
- (7) (推薦選抜のみ) 所属する大学の指導教員からの推薦状
- (8) 受験票^{*1} 及び受験票送付用封筒 (380円分の切手を貼付したもの)

※1 貼付する写真は、最近3カ月以内に撮影した正面半身無帽、縦4cm×横3cmとし、全て同一のものとする。

※2 障がいなどのために、受験時や入学後の学修に際して特別の配慮を必要とする者は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず相談すること。

外国人留学生選抜の場合

出願書類が日本語以外の言語で記されているものについては、日本語の訳文を添付すること。

- (1) 入 学 願 書^{*1} (本学所定の用紙)
- (2) 志願理由書 (本学所定の用紙)
- (3) 研究計画書 (本学所定の用紙)
- (4) 最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書
- (5) 学位記の写し (学位記が授与された者のみ)
学位を授与した機関が発行する学位取得証明書でもよい。
- (6) 最終出身学校の成績証明書
成績証明書はオリジナルとする。ただし、本学研究生出願時にオリジナルの成績証明書を提出している者は、コピーしたもので差し支えない。
- (7) 受験票^{*1} 及び受験票送付用封筒 (380円分の切手を貼付したもの)
- (8) 在留カードの写し (両面、発行を受けた者のみ)

※1 貼付する写真は、最近3カ月以内に撮影した正面半身無帽、縦4cm×横3cmとし、全て同一のものとする。

5 入 学 検 定 料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要な事項を記入し、切り離して最寄りの銀行から「電信扱い」で振り込むこと。指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料だが、他の金融機関から振込みの場合、振込手数料が有料となるので各窓口で確認すること。

なお、入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印(取扱銀行出納印)①~④がすべて押印されているか確認すること。

海外送金時の注意点 (2023年4月1日現在)

- (1) 必ず、出願者本人の住所・氏名で送金手続きをしてください。
- (2) 外貨では受け付けませんので、必ず日本円で送金してください。
- (3) 入学検定料に日本国内での金融機関手数料4,000円を加えた金額で本学の指定口座に振り込んでください。この場合、海外の金融機関で必要な送金手数料も振込人負担となります。
- (4) 万が一、不足が生じた場合には、受付できませんのでご注意ください。

6 出 願 場 所

北海学園大学経済学部（経済学研究科）事務室
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 ☎(011)841-1161(代)

7 選 抜 方 法

(1) 一般選抜

選考は筆記試験・口述試験・成績証明書等による。

但し、本学経済学部出身の者で特に成績優秀な者^{*1}、または卒業論文等によって、選考資料とすることのできる者は、筆記試験を免除する。

※1 成績優秀な者とは、3年次修了時点で108単位以上を修得し、GPA2.5以上の者をいう。

(2) 推薦選抜

本学の経済学部以外の学部あるいは他大学に所属し成績が優秀である者^{*1}で、所属する大学の指導教員からの推薦を得ることのできる者は、筆記試験を免除する。^{*2}

※1 成績が優秀である者とは、3年次修了時点で108単位以上を修得し、GPA2.5以上の者（あるいはそれに相当する成績の者）をいう。

※2 推薦選抜志願者は、受付開始日の1か月前までに、経済学研究科事務室まで問い合わせること。

(3) 社会人特例選抜

選考にあたっては、口述試験及び志願理由書、研究計画書等を総合的に判断する。

* 試験の成績によっては募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがある。

8 試験日・試験会場

	第 I 期	第 II 期
試験日	2023年10月4日(水)	2024年2月17日(土)
試験会場	北海学園大学	

* 留学ビザを取得していない受験生は、合格後のビザ取得に時間がかかり、入学の条件を満たせない場合が多いので、できるだけ第I期募集（10月）での受験が望ましい。

9 試験科目・時間（受験者数によっては時間に変更になる場合がある）

(1) 一般選抜

①-A 日本人の場合

科目	時間	内容
外国語筆記試験 ^{*1}	9:30~11:00	英語
専門科目筆記試験	11:10~12:40	1 共通専門科目 2 指導希望教員担当科目 ^{*2}
口述試験	13:40~	筆記試験及び研究計画、進路等を中心に面接

※1 辞書（1冊）の持ち込みを許可する。ただし、電子辞書の持ち込みは認めない。

※2 担当者は7ページに記載している。

①-B 外国人留学生の場合

科目	時間	内容
専門科目筆記試験 ^{*1}	11:10~12:40	1 共通専門科目 2 指導希望教員担当科目 ^{*2}
口述試験	13:40~	会話力及び筆記試験、研究計画、進路等を中心に面接

※1 日本語から母語への辞書（1冊）と母語から日本語への辞書（1冊）の持ち込みを許可する。ただし、電子辞書の持ち込みは認めない。

※2 担当者は7ページに記載している。

- ② 本学経済学部出身の者（外国人を含む）で、特に成績優秀な者、または出願書類として卒業論文等を提出した者の場合

科 目	時 間	内 容
口 述 試 験	9:30~	卒業論文等、及び研究計画、進路等を中心に面接

(2) 推薦選抜

科 目	時 間	内 容
口 述 試 験	9:30~	大学での学修内容等、及び研究計画、進路等を中心に面接

(3) 社会人特例選抜

科 目	時 間	内 容
口 述 試 験	9:30~	志願理由書、研究計画書、進路等を中心に面接

* 日本人、外国人留学生共通

10 合格発表

第Ⅰ期 2023年11月1日(水) 正午

第Ⅱ期 2024年3月1日(金) 正午

本研究科掲示板(本学7号館7階)に掲示するとともに合格者宛に通知する(電話での問い合わせには応じない)。

11 入学手続

第Ⅰ期 2024年3月9日(土) 正午まで
第Ⅱ期

合格者は上の期日までに次の書類に学費を添えて手続を完了のこと。ただし、第Ⅰ期合格者は第1次手続として、入学金を2023年11月10日(金)までに納入しなければならない。

- (1) 事 項 届 (本学所定の用紙)
- (2) 学生カード^{*1} (本学所定の用紙)
- (3) 卒業証明書 (卒業見込みで受験した者のみ)
- (4) 成績証明書 (卒業見込みで受験した者のみ)
- (5) 学生証用写真貼付台紙^{*1}
- (6) 誓 約 書 (外国人合格者のみ)
- (7) 在留カードの写し (両面、外国人合格者のみ)
- (8) パスポートの写し (顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分、外国人合格者のみ)
- (9) 預金残高証明書及び預金通帳写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの (外国人合格者のみ)
- (10) (9)の資金形成に至る過去3年間の収入に関する資料 (年ごと)
- (11) 学費支給者の在職証明書 (又は法人登記簿)、収入を明らかにする資料と受験生との関係を証明する資料
- (12) 学費等振込後の「払込金受領証」の写し

※1 貼付する写真は、最近3カ月以内に撮影した正面半身無帽、縦3cm×横3cmとし、全て同一のものとする。

在留カードの写しの提出

- (1) 在留カードの提出期限は、入学年の4月10日とする。未提出の場合は入学許可を取り消すことがある。
- (2) 在留カード発行手続の流れについては、合格通知時に書類を同封する。
 - * 大学院経済学研究科では入学手続時に、保証人1名が必要となる。
 - * 社会人特例選抜で入学を希望する者は「大学院入学者選抜要項」の「出願資格」を参照すること。
 - * 留学ビザを取得していない受験者は、大学院合格後のビザ取得に時間がかかり、入学の条件を満たせない場合が多いので、本学経済学部研究生や他大学に入学するなど、事前にビザを取得した後での受験が望ましい。なお、本学経済学部に研究生として入学を希望する者は、「経済学部研究生募集要項」を参照すること。

12 学 費

一般選抜・推薦選抜

(単位：円)

納入時		納入金	入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	合 計
1 年	第1期 (入学手続時)		200,000	436,000	50,000	1,000	5,000	10,000	702,000
	第2期 (9月30日)		-	436,000	50,000	-	-	-	486,000
	計		200,000	872,000	100,000	1,000	5,000	10,000	1,188,000
2 年	第1期 (4月20日)		-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000
	第2期 (9月30日)		-	436,000	50,000	-	-	-	486,000
	計		-	872,000	100,000	1,000	-	-	973,000

社会人特例選抜

(単位：円)

納入時		納入金	入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	合 計
1 年	第1期 (入学手続時)		100,000	218,000	30,000	1,000	5,000	10,000	364,000
	第2期 (9月30日)		-	218,000	20,000	-	-	-	238,000
	計		100,000	436,000	50,000	1,000	5,000	10,000	602,000
2 年	第1期 (4月20日)		-	218,000	30,000	1,000	-	-	249,000
	第2期 (9月30日)		-	218,000	20,000	-	-	-	238,000
	計		-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000

社会人特例選抜のうち長期履修生

(単位：円)

納入時		納入金	入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	合計
1 年 目	第1期 (入学手続時)		100,000	147,000	17,500	1,000	5,000	10,000	280,500
	第2期 (9月30日)		-	145,000	16,500	-	-	-	161,500
	計		100,000	292,000	34,000	1,000	5,000	10,000	442,000
2 年 目	第1期 (4月20日)		-	145,000	16,500	1,000	-	-	162,500
	第2期 (9月30日)		-	145,000	16,500	-	-	-	161,500
	計		-	290,000	33,000	1,000	-	-	324,000
3 年 目	第1期 (4月20日)		-	145,000	16,500	1,000	-	-	162,500
	第2期 (9月30日)		-	145,000	16,500	-	-	-	161,500
	計		-	290,000	33,000	1,000	-	-	324,000

- * 同窓会入会金及び同窓会費については、本学卒業生は免除になる。
- * 入学金については、北海学園設置の本学・本学大学院又は北海商科大学・北海商科大学大学院を卒業後に本学大学院修士課程へ入学するときは入学金を免除する。ただし、2部卒業生などで以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。
- * 長期履修生が短縮して終了する場合、残存期間の授業料及び教育充実費を徴収することになるが、学会費については在学する期間のみ徴収する。

13 その他

(1) 長期履修制度

長期履修制度とは、社会人特例学生のうち職業を有する等の事情により、研究・学習に充てられる時間が限られ、標準修業年限（修士課程は2年、博士（後期）課程は3年）では教育課程の履修が困難な学生を対象に、これを超えた一定の期間（修士課程は3年、博士（後期）課程は5年）に渡る計画的な履修により、学位の取得を可能とする制度のことである。この制度を利用すると、納入する学費の総額は変わらないが、1年あたりの金額は低減されることとなる。

長期履修を希望する場合、出願時に提出する書類（願書・志願理由書・研究計画書）にその旨記載し、申請しなければならない。なお、これ以降中途での申請はすることができない。

(2) 本研究科へ入学する前に修得した単位がある場合の在学期間短縮について

本研究科へ入学する前に大学院で修得した単位がある場合、その単位数や単位修得に要した期間等を勘案し、本研究科の修士課程の一部を履修したものと認め、1年を超えない範囲で本研究科が定める期間在学したものとみなすことがあります。

詳細は、出願前に経済学研究科事務室へお問い合わせください。

(3) 教育職員免許状の取得

教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

本研究科において、当該所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類は、次のとおりとする。

経済学研究科 経済政策専攻

中学校教諭専修免許状 (免許教科) 社 会

高等学校教諭専修免許状 (免許教科) 地理歴史・公民・商業

(4) 自動車（四輪車）通学の禁止について

本学では、大学構内の駐車場用地の確保が困難であることや、違法駐車による近隣への迷惑防止、公共交通機関の利便性などを勘案し、自動車（四輪車）通学を禁止しています。違反した場合は「学則に基づく処分」がなされます。

なお、身体的理由などで徒歩や公共交通機関の利用による通学が困難な場合には、「車両通学特別許可」制度があることを申し添えます。特別な事情のある方は、学生部までご相談ください。

2023年度 大学院経済学研究科 修士課程 テーマ一覧 (参考)

授 業 科 目	担当教授	研 究 テ ー マ
経済政策総論特殊講義	上園 昌武	脱炭素社会に向けた環境・エネルギー政策
経済政策史特殊講義Ⅰ	市川 大祐	近代日本経済発展と技術導入・普及過程について
経済政策史特殊講義Ⅱ	石井 健	近世イギリス社会における奉公人制度の研究
農業政策特殊講義	宮入 隆	農産物流通と産地再編に関する実証研究
中小企業政策特殊講義	山田 誠治	資本主義の多様性と中小企業
金融政策特殊講義Ⅰ	宇土 至心	20世紀の米国における金融論および財務論の展開
開発政策特殊講義Ⅰ	早尻 正宏	人間発達の開発政策:「開発」を捉え直す
環境政策特殊講義	浅妻 裕	国際化する環境問題と環境政策の課題
環境経済論特殊講義	古林 英一	ごみ問題と循環型社会
社会政策特殊講義	宮本 章史	現代福祉国家における福祉・労働政策
社会保障論特殊講義	中園 桐代	セーフティネットと労働—ジェンダーの視点から—
労働経済論特殊講義	川村 雅則	現代日本における労働研究
理論経済学特殊講義Ⅱ	逸見 宜義	マクロ経済モデルのミクロ的基礎づけを行う
理論経済学特殊講義Ⅲ	田中 仁史	研究開発活動を内生化した経済成長理論
社会経済学特殊講義Ⅰ	神山 義治	資本主義システムの「運動法則」把握の理論的基礎
社会経済学特殊講義Ⅱ	大屋 定晴	現代グローバル資本主義の理論的考察
社会思想史特殊講義Ⅰ	小林 淑憲	近現代の西洋社会が抱える諸問題の探求
社会思想史特殊講義Ⅱ	栗林 広明	古代ギリシアの哲学思想
財政学特殊講義	野口 剛	財政の基礎と応用
税制論特殊講義		税の理論・制度・政策
地方財政論特殊講義	西村 宣彦	現代地方財政分析
日本経済論特殊講義	板垣 暁	(1)戦後日本の産業政策と企業・産業との相互作用について (2)戦後日本の環境・安全規制と企業・産業との相互作用について
地域経済論特殊講義Ⅰ	大貝 健二	地域産業および地域産業政策の比較研究
地域経済論特殊講義Ⅱ	濱田 武士	発展する地域 衰退する地域
協同組合組織論特殊講義	佐藤 信	食と農の協同と新たな地域づくり
国際経済論特殊講義Ⅰ	越後 修	グローバル時代の企業行動にかんする研究
国際経済論特殊講義Ⅱ	宮島 良明	新興アジア経済論
発展途上国論特殊講義	平野 研	ラテンアメリカ諸国の経済連携の問題点と可能性
韓国社会経済論特殊講義Ⅰ	水野 邦彦	韓国資本主義秩序の分析
韓国社会経済論特殊講義Ⅱ	辻 弘範	朝鮮半島における伝統と近代
社会調査論特殊講義Ⅰ	内田 和浩	地域社会調査における質的調査法とその有効性
社会調査論特殊講義Ⅱ	水野谷武志	実際の社会調査データを使ってデータ分析の知識と技術を獲得する
教育社会経済論特殊講義	荻原 克男	戦後日本の教育政策

※大学院要覧も参照してください。

2023年度 大学院経済学研究科修士課程(特殊講義・演習)担当者(参考)

科目名	単位数	担当教員	備考	科目名	単位数	担当教員	備考
経済政策総論特殊講義	4	上園 昌武		社会思想史特殊講義Ⅱ	4	栗林 広明	
経済政策総論特殊講義演習1	4			社会思想史特殊講義Ⅱ演習1	4		
経済政策総論特殊講義演習2	4			社会思想史特殊講義Ⅱ演習2	4		
経済政策史特殊講義Ⅰ	4	市川 大祐		財政学特殊講義	4	野口 剛	
経済政策史特殊講義Ⅰ演習1	4			財政学特殊講義演習1	4		
経済政策史特殊講義Ⅰ演習2	4			財政学特殊講義演習2	4		
経済政策史特殊講義Ⅱ	4	石井 健		税制論特殊講義	4		
経済政策史特殊講義Ⅱ演習1	4			税制論特殊講義演習1	4		
経済政策史特殊講義Ⅱ演習2	4			税制論特殊講義演習2	4		
農業政策特殊講義	4	宮入 隆		地方財政論特殊講義	4	西村 宣彦	
農業政策特殊講義演習1	4			地方財政論特殊講義演習1	4		
農業政策特殊講義演習2	4			地方財政論特殊講義演習2	4		
中小企業政策特殊講義	4	山田 誠治		日本経済論特殊講義	4	板垣 暁	
中小企業政策特殊講義演習1	4			日本経済論特殊講義演習1	4		
中小企業政策特殊講義演習2	4			日本経済論特殊講義演習2	4		
金融政策特殊講義Ⅰ	4	宇土 至心		地域経済論特殊講義Ⅰ	4	大貝 健二	
金融政策特殊講義Ⅰ演習1	4			地域経済論特殊講義Ⅰ演習1	4		
金融政策特殊講義Ⅰ演習2	4			地域経済論特殊講義Ⅰ演習2	4		
開発政策特殊講義Ⅰ	4	早尻 正宏		地域経済論特殊講義Ⅱ	4	濱田 武士	
開発政策特殊講義Ⅰ演習1	4			地域経済論特殊講義Ⅱ演習1	4		
開発政策特殊講義Ⅰ演習2	4			地域経済論特殊講義Ⅱ演習2	4		
環境政策特殊講義	4	浅妻 裕		協同組合組織論特殊講義	4	佐藤 信	
環境政策特殊講義演習1	4			協同組合組織論特殊講義演習1	4		
環境政策特殊講義演習2	4			協同組合組織論特殊講義演習2	4		
環境経済論特殊講義	4	古林 英一		国際経済論特殊講義Ⅰ	4	越後 修	
環境経済論特殊講義演習1	4			国際経済論特殊講義Ⅰ演習1	4		
環境経済論特殊講義演習2	4			国際経済論特殊講義Ⅰ演習2	4		
社会政策特殊講義	4	宮本 章史		国際経済論特殊講義Ⅱ	4	宮島 良明	
社会政策特殊講義演習1	4			国際経済論特殊講義Ⅱ演習1	4		
社会政策特殊講義演習2	4			国際経済論特殊講義Ⅱ演習2	4		
社会保障論特殊講義	4	中園 桐代		発展途上国論特殊講義	4	平野 研	
社会保障論特殊講義演習1	4			発展途上国論特殊講義演習1	4		
社会保障論特殊講義演習2	4			発展途上国論特殊講義演習2	4		
労働経済論特殊講義	4	川村 雅則		韓国社会経済論特殊講義Ⅰ	4	水野 邦彦	
労働経済論特殊講義演習1	4			韓国社会経済論特殊講義Ⅰ演習1	4		
労働経済論特殊講義演習2	4			韓国社会経済論特殊講義Ⅰ演習2	4		
理論経済学特殊講義Ⅱ	4	逸見 宜義		韓国社会経済論特殊講義Ⅱ	4	辻 弘範	
理論経済学特殊講義Ⅱ演習1	4			韓国社会経済論特殊講義Ⅱ演習1	4		
理論経済学特殊講義Ⅱ演習2	4			韓国社会経済論特殊講義Ⅱ演習2	4		
理論経済学特殊講義Ⅲ	4	田中 仁史		社会調査論特殊講義Ⅰ	4	内田 和浩	
理論経済学特殊講義Ⅲ演習1	4			社会調査論特殊講義Ⅰ演習1	4		
理論経済学特殊講義Ⅲ演習2	4			社会調査論特殊講義Ⅰ演習2	4		
社会経済学特殊講義Ⅰ	4	神山 義治		社会調査論特殊講義Ⅱ	4	水野谷武志	
社会経済学特殊講義Ⅰ演習1	4			社会調査論特殊講義Ⅱ演習1	4		
社会経済学特殊講義Ⅰ演習2	4			社会調査論特殊講義Ⅱ演習2	4		
社会経済学特殊講義Ⅱ	4	大屋 定晴		教育社会経済論特殊講義	4	荻原 克男	
社会経済学特殊講義Ⅱ演習1	4			教育社会経済論特殊講義演習1	4		
社会経済学特殊講義Ⅱ演習2	4			教育社会経済論特殊講義演習2	4		
社会思想史特殊講義Ⅰ	4	小林 淑憲					
社会思想史特殊講義Ⅰ演習1	4						
社会思想史特殊講義Ⅰ演習2	4						

※大学院要覧も参照してください。

大学院経済学研究科

経済政策専攻

博士(後期)課程

1 目的・募集人員

博士（後期）課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、または、その他の専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

研 究 科	博士（後期）課程	定 員
経済学研究科	経済政策専攻	3名*

* 社会人特例**選抜**を含む

* 国費留学生の**手続**および**選考**については別に定める内規による

2 選 考

- (1) 選考は、筆記試験・口述試験による。
- (2) 試験の成績によっては募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがある。

3 授 業 時 間

- (1) 授業時間は全科目1コマ90分とし、大学院の授業時間割は月曜日から土曜日まで昼夜一貫方式を採用する。これによって開講時間は1時限から7時限となる。
- (2) 社会人特例入学者は、おおむね6時限（17：50～19：20）、7時限（19：30～21：00）の授業を履修するものとし、6単位をこえない範囲で昼間開講授業を履修できるものとする。

4 修 業 年 限

- (1) 博士（後期）課程の標準修業年限は、3年とする。
- (2) 博士（後期）課程には、6年を**超**えて在学することができない。

5 修 了 要 件

本研究科の博士（後期）課程に標準修業年限の3年以上在学し、研究指導教授の担当する「特殊研究」及び「同演習」合計12単位と、指導教授以外の担当する「特殊研究」2単位の合計14単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。

6 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 修士の学位を有する者及び2024年3月取得見込みの者
- ② 外国の大学において、前号と同等または同等以上の学力を有する者
- ③ 文部科学大臣の指定した者
- ④ その他大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(2) 社会人特例選抜

2024年4月において定まった職業を有する者(自営業従事者を含む)、または定年退職者、主婦、その他豊富な社会経験を有する者で、下記①～④のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位を有する者及び2024年3月取得見込みの者
- ② 外国の大学において、前号と同等または同等以上の学力を有する者
- ③ 文部科学大臣の指定した者
- ④ その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

* 出願時において、通学圏(札幌圏)外に居住している者は、受講科目の開講曜日の確定が4月中旬になることや専門研究に必要な予習時間の確保等を考えた場合、入学後は通学圏(札幌圏)内に転居することが望ましい。

7 出願期間

受付開始日	受付締切日
2024年1月10日(水)	2024年1月17日(水)

窓口受付時間：平日 9:00～16:00 (12:40～13:40は除く)

土曜日 9:00～12:40 (日曜日は受付しない)

* 郵送出願の場合は「書留」とし、必ず受付締切日までに到着するよう郵送すること。

8 出願書類 (一旦提出した出願書類及び入学検定料は理由のいかんにかかわらず返還しない。)

出願者は、次の書類を一括し、次項9の要領で入学検定料を振り込みの上提出すること。

* 受験者は、出願前に指導を受けることを希望する教員に会い、研究計画書や語学能力について相談しておくこと。

* 外国人留学生は、合格後のビザ取得に時間がかかり、入学の条件を満たせない場合が多いので、注意すること。

- (1) 入学願書^{*1} (本学所定の用紙)
- (2) 志願理由書 (本学所定の用紙)
長期履修を希望する場合、その旨明記し、あわせて理由も記すこと。
- (3) 研究計画書 (本学所定の用紙)
長期履修を希望する場合、その旨簡記したうえ、5年の計画で作成すること。
- (4) 修了証明書または修了見込証明書
- (5) 大学院成績証明書
- (6) 修士論文の写し(審査のため提出中のものを含む)あるいはこれに代わる公表された論文(2部)
- (7) (6)で提出した論文の要旨(4000字以内、2部)
- (8) 受験票^{*1} 及び受験票送付用封筒(380円分の切手を貼付したもの)
外国人留学生は以下の書類も提出すること
- (9) 在留カードの写し(両面、発行を受けた者のみ)

- ※1 貼付する写真は、最近3カ月以内に撮影した正面半身無帽、縦4cm×横3cmとし、全て同一のものとすること。
- ※2 障がいなどのために、受験時や入学後の学修に際して特別の配慮を必要とする者は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず相談すること。

9 入学検定料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要な事項を記入し、切り離して最寄りの銀行から「電信扱い」で振り込むこと。(指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料だが、他の金融機関から振り込みの場合、振込手数料が有料となるので各窓口で確認すること)

なお、入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印(取扱銀行出納印)①～④がすべて押印されているか確認すること。

海外送金時の注意点 (2023年4月1日現在)

- (1) 必ず、出願者本人の住所・氏名で送金手続きをしてください。
- (2) 外貨では受け付けませんので、必ず日本円で送金してください。
- (3) 入学検定料に日本国内での金融機関手数料4,000円を加えた金額で本学の指定口座に振り込んでください。この場合、海外の金融機関で必要な送金手数料も振込人負担となります。
- (4) 万が一、不足が生じた場合には、受付できませんのでご注意ください。

10 出願場所

北海学園大学経済学部(経済学研究科)事務室

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 ☎(011)841-1161(代)

11 選抜方法

出願時に、修士論文又は、これに代わる公表された研究論文並びに「研究計画書」の提出を求め、外国語及び筆記試験、面接による口述試験によって総合的に合否を決定する。

但し、本学経済学研究科修士課程を修了(見込みを含む)した者は、外国語筆記試験及び専門筆記試験を免除する。

12 試験日・試験会場

試験日	2024年2月17日(土)
試験会場	北海学園大学

13 試験科目・時間(受験者数によっては時間に変更になる場合がある)

(1)-A 日本人の場合

科目	時間	内容
外国語筆記試験 ^{*1}	9:30~11:00	英語
専門科目筆記試験	11:10~12:40	1 共通専門科目(経済政策に関連するもの) 2 指導希望教員担当科目
口述試験	13:40~	筆記試験・提出された論文・研究計画書などを中心に面接

※1 辞書(1冊)の持ち込みを許可する。ただし、電子辞書の持ち込みは認めない。

(1)- B 外国人留学生の場合

科目	時間	内容
専門科目 筆記試験 ^{*1}	11:10~12:40	1 共通専門科目（経済政策に関連するもの） 2 指導希望教員担当科目
口述試験	13:40~	筆記試験・提出された論文・研究計画書などを中心に面接

※1 日本語から母語への辞書（1冊）と母語から日本語への辞書（1冊）の持ち込みを許可する。ただし、電子辞書の持ち込みは認めない。

(2) 本学経済学研究科修士課程を修了（見込みを含む）した者（外国人を含む）

科目	時間	内容
口述試験	9:30~	提出された論文・研究計画書などを中心に面接

14 合格発表

2024年3月1日（金） 正午

本研究科掲示板（本学7号館7階）に掲示するとともに合格者宛に通知する（電話での問い合わせには応じない）。

15 入学手続

2024年3月9日（土） 正午まで

合格者は上の期日までに次の書類に学費を添えて手続を完了のこと。

- (1) 事項届（本学所定の用紙）
- (2) 学生カード^{*1}（本学所定の用紙）
- (3) 修了証明書（修了見込みで受験した者のみ）
- (4) 成績証明書（修了見込みで受験した者のみ）
- (5) 学生証用写真貼付台紙^{*1}
- (6) 誓約書（外国人合格者のみ）
- (7) 在留カードの写し（両面、外国人合格者のみ）
- (8) パスポートの写し（顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分、外国人合格者のみ）
- (9) 預金残高証明書及び預金通帳写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの（外国人合格者のみ）
- (10) (9)の資金形成に至る過去3年間の収入に関する資料（年ごと）
- (11) 学費支給者の在職証明書（又は法人登録簿）、収入を明らかにする資料と受験生との関係を証明する資料
- (12) 学費等振込後の「払込金受領証」の写し

※1 貼付する写真は、最近3カ月以内に撮影した正面半身無帽、縦3cm×横3cmとし、全て同一のものとする。

16 その他

自動車（四輪車）通学の禁止について

本学では、大学構内の駐車場用地の確保が困難であることや、違法駐車による近隣への迷惑防止、公共交通機関の利便性などを勘案し、自動車（四輪車）通学を禁止しています。違反した場合は「学則に基づく処分」がなされます。

なお、身体的理由などで徒歩や公共交通機関の利用による通学が困難な場合には、「車両通学特別許可」制度があることを申し添えます。特別な事情のある方は、学生部までご相談ください。

17 学 費

一般選抜

(単位：円)

納入時		納入金						合 計
		入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	
1 年	第1期 (入学手続時)	200,000	436,000	50,000	1,000	5,000	10,000	702,000
	第2期 (9月30日)	-	436,000	50,000	-	-	-	486,000
	計	200,000	872,000	100,000	1,000	5,000	10,000	1,188,000
2 年	第1期 (4月20日)	-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000
	第2期 (9月30日)	-	436,000	50,000	-	-	-	486,000
	計	-	872,000	100,000	1,000	-	-	973,000
3 年	第1期 (4月20日)	-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000
	第2期 (9月30日)	-	436,000	50,000	-	-	-	486,000
	計	-	872,000	100,000	1,000	-	-	973,000

社会人特例選抜

(単位：円)

納入時		納入金						合 計
		入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	
1 年	第1期 (入学手続時)	100,000	218,000	30,000	1,000	5,000	10,000	364,000
	第2期 (9月30日)	-	218,000	20,000	-	-	-	238,000
	計	100,000	436,000	50,000	1,000	5,000	10,000	602,000
2 年	第1期 (4月20日)	-	218,000	30,000	1,000	-	-	249,000
	第2期 (9月30日)	-	218,000	20,000	-	-	-	238,000
	計	-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000
3 年	第1期 (4月20日)	-	218,000	30,000	1,000	-	-	249,000
	第2期 (9月30日)	-	218,000	20,000	-	-	-	238,000
	計	-	436,000	50,000	1,000	-	-	487,000

社会人特例選抜のうち長期履修生

(単位：円)

納入金		入学金	授業料	教育充実費	経済学会費	同窓会入会金	同窓会費	合計
納入時								
1 年 目	第1期 (入学手続時)	100,000	133,500	15,000	1,000	5,000	10,000	264,500
	第2期 (9月30日)	-	130,500	15,000	-	-	-	145,500
	計	100,000	264,000	30,000	1,000	5,000	10,000	410,000
2 年 目	第1期 (4月20日)	-	130,500	15,000	1,000	-	-	146,500
	第2期 (9月30日)	-	130,500	15,000	-	-	-	145,500
	計	-	261,000	30,000	1,000	-	-	292,000
3 年 目	第1期 (4月20日)	-	130,500	15,000	1,000	-	-	146,500
	第2期 (9月30日)	-	130,500	15,000	-	-	-	145,500
	計	-	261,000	30,000	1,000	-	-	292,000
4 年 目	第1期 (4月20日)	-	130,500	15,000	1,000	-	-	146,500
	第2期 (9月30日)	-	130,500	15,000	-	-	-	145,500
	計	-	261,000	30,000	1,000	-	-	292,000
5 年 目	第1期 (4月20日)	-	130,500	15,000	1,000	-	-	146,500
	第2期 (9月30日)	-	130,500	15,000	-	-	-	145,500
	計	-	261,000	30,000	1,000	-	-	292,000

- * 同窓会入会金及び同窓会費については、本学卒業生は免除になる。
- * 入学金については、北海学園設置の本学・本学大学院又は北海商科大学・北海商科大学大学院を卒業後に本学大学院博士課程へ入学するときは入学金を免除する。ただし、2部卒業生などで以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。
- * 長期履修生が短縮して終了する場合、残存期間の授業料及び教育充実費を徴収することになるが、学会費については在学する期間のみ徴収する。

18 長期履修制度

長期履修制度とは、社会人特例学生のうち職業を有する等の事情により、研究・学習に充てられる時間が限られ、標準修業年限（修士課程は2年、博士（後期）課程は3年）では教育課程の履修が困難な学生を対象に、これを超えた一定の期間（修士課程は3年、博士（後期）課程は5年）に渡る計画的な履修により、学位の取得を可能とする制度のことである。この制度を利用すると、納入する学費の総額は変わらないが、1年あたりの金額は低減されることとなる。

長期履修を希望する場合、出願時に提出する書類（願書・志願理由書・研究計画書）にその旨記載し、申請しなければならない。なお、これ以降中途での申請はすることができない。

2023年度 大学院経済学研究科 博士(後期)課程 テーマ一覧(参考)

■国際比較経済論分野

授 業 科 目	担当者	研 究 テ ー マ
比較経済政策史特殊研究 I	市川 大祐	近代日本経済発展と技術導入・普及過程について
比較経済政策史特殊研究 II	石井 健	近世イギリスにおける労働政策及び救貧政策の研究

■地域比較経済論分野

授 業 科 目	担当者	研 究 テ ー マ
地域経済論特殊研究 I	大貝 健二	地域経済の再構築に向けた実証研究と地域産業政策の批判的検討
地域経済論特殊研究 II	濱田 武士	グローバル化のなかの地域問題と地域経済政策
東アジア経済論特殊研究 II	水野 邦彦	韓国の階級構造と階級的イデオロギーの変化
開発政策論特殊研究 I	早尻 正宏	多元的経済時代の先進諸国の開発政策

■経済政策論分野

授 業 科 目	担当者	研 究 テ ー マ
経済規制政策特殊研究 I	山田 誠治	情報・知識・文化資本主義化とネットワーク組織の可能性
経済規制政策特殊研究 II	上園 昌武	脱炭素社会に向けた環境・エネルギー政策
環境政策特殊研究 I	古林 英一	廃棄物処理政策の変遷過程
環境政策特殊研究 II	浅妻 裕	環境政策のポリシーミックス
農村再編政策特殊研究 I	宮入 隆	「北海道農業論」再構築のための実証研究
協同組合組織論特殊研究	佐藤 信	協同組合組織・事業の展開過程
社会政策特殊研究 I	川村 雅則	グローバル経済下における各国の労使関係
社会政策特殊研究 II	中園 桐代	地域におけるセーフティネット形成の課題
教育社会経済論特殊研究	荻原 克男	福祉国家再編と教育改革

■経済分析理論分野

授 業 科 目	担当者	研 究 テ ー マ
社会調査論特殊研究 I	内田 和浩	質的調査法と地域づくりの主体形成
理論経済学特殊研究 I	逸見 宜義	経済発展における教育や人的資本の役割
社会経済学特殊研究	神山 義治	資本の理論の基礎的諸範疇の検討
社会思想史特殊研究 I	小林 淑憲	近現代の西洋社会に固有の諸問題の解明
統計学特殊研究 II	水野谷武志	社会・経済分野におけるミクロ統計データの利用

※大学院要覧も参照してください。

2023年度 大学院経済学研究科博士(後期)課程(特殊研究・演習)担当者(参考)

科目名	単位数	担当教授	備考	科目名	単位数	担当教授	備考
比較経済政策史特殊研究Ⅰ	2	市川 大祐		農村再編政策特殊研究Ⅰ	2	宮入 隆	
比較経済政策史特殊研究Ⅰ演習1	2		農村再編政策特殊研究Ⅰ演習1	2			
比較経済政策史特殊研究Ⅰ演習2	4		農村再編政策特殊研究Ⅰ演習2	4			
比較経済政策史特殊研究Ⅰ演習3	4		農村再編政策特殊研究Ⅰ演習3	4			
比較経済政策史特殊研究Ⅱ	2	石井 健		協同組合組織論特殊研究	2	佐藤 信	
比較経済政策史特殊研究Ⅱ演習1	2		協同組合組織論特殊研究演習1	2			
比較経済政策史特殊研究Ⅱ演習2	4		協同組合組織論特殊研究演習2	4			
比較経済政策史特殊研究Ⅱ演習3	4		協同組合組織論特殊研究演習3	4			
地域経済論特殊研究Ⅰ	2	大貝 健二		社会政策特殊研究Ⅰ	2	川村 雅則	
地域経済論特殊研究Ⅰ演習1	2		社会政策特殊研究Ⅰ演習1	2			
地域経済論特殊研究Ⅰ演習2	4		社会政策特殊研究Ⅰ演習2	4			
地域経済論特殊研究Ⅰ演習3	4		社会政策特殊研究Ⅰ演習3	4			
地域経済論特殊研究Ⅱ	2	濱田 武士		社会政策特殊研究Ⅱ	2	中園 桐代	
地域経済論特殊研究Ⅱ演習1	2		社会政策特殊研究Ⅱ演習1	2			
地域経済論特殊研究Ⅱ演習2	4		社会政策特殊研究Ⅱ演習2	4			
地域経済論特殊研究Ⅱ演習3	4		社会政策特殊研究Ⅱ演習3	4			
東アジア経済論特殊研究Ⅱ	2	水野 邦彦		教育社会経済論特殊研究	2	荻原 克男	
東アジア経済論特殊研究Ⅱ演習1	2		教育社会経済論特殊研究演習1	2			
東アジア経済論特殊研究Ⅱ演習2	4		教育社会経済論特殊研究演習2	4			
東アジア経済論特殊研究Ⅱ演習3	4		教育社会経済論特殊研究演習3	4			
開発政策論特殊研究Ⅰ	2	早尻 正宏		社会調査論特殊研究Ⅰ	2	内田 和浩	
開発政策論特殊研究Ⅰ演習1	2		社会調査論特殊研究Ⅰ演習1	2			
開発政策論特殊研究Ⅰ演習2	4		社会調査論特殊研究Ⅰ演習2	4			
開発政策論特殊研究Ⅰ演習3	4		社会調査論特殊研究Ⅰ演習3	4			
経済規制政策特殊研究Ⅰ	2	山田 誠治		理論経済学特殊研究Ⅰ	2	逸見 宜義	
経済規制政策特殊研究Ⅰ演習1	2		理論経済学特殊研究Ⅰ演習1	2			
経済規制政策特殊研究Ⅰ演習2	4		理論経済学特殊研究Ⅰ演習2	4			
経済規制政策特殊研究Ⅰ演習3	4		理論経済学特殊研究Ⅰ演習3	4			
経済規制政策特殊研究Ⅱ	2	上園 昌武		社会経済学特殊研究	2	神山 義治	
経済規制政策特殊研究Ⅱ演習1	2		社会経済学特殊研究演習1	2			
経済規制政策特殊研究Ⅱ演習2	4		社会経済学特殊研究演習2	4			
経済規制政策特殊研究Ⅱ演習3	4		社会経済学特殊研究演習3	4			
環境政策特殊研究Ⅰ	2	古林 英一		社会思想史特殊研究Ⅰ	2	小林 淑憲	
環境政策特殊研究Ⅰ演習1	2		社会思想史特殊研究Ⅰ演習1	2			
環境政策特殊研究Ⅰ演習2	4		社会思想史特殊研究Ⅰ演習2	4			
環境政策特殊研究Ⅰ演習3	4		社会思想史特殊研究Ⅰ演習3	4			
環境政策特殊研究Ⅱ	2	浅妻 裕		統計学特殊研究Ⅱ	2	水野谷武志	
環境政策特殊研究Ⅱ演習1	2		統計学特殊研究Ⅱ演習1	2			
環境政策特殊研究Ⅱ演習2	4		統計学特殊研究Ⅱ演習2	4			
環境政策特殊研究Ⅱ演習3	4		統計学特殊研究Ⅱ演習3	4			

※大学院要覧も参照してください。

出願書類
(本学所定の用紙)

個人情報の取扱いについて

本学では個人情報の取扱いについて、本人から提出いただいた出願時及び入学手続書類等については個人情報として処理し、厳重に管理します。具体的には、次の事項に留意して対応していきます。

◆ (利用目的の特定)

個人情報は、合否判定、合格通知の発送およびご入学後の教育、修学及び進路指導、事務連絡、各種郵便物の発送等について、教職員が職務上必要な範囲において利用します。

◆ (第三者への情報提供・制限)

予め本人の同意を得ずに、個人情報を「利用目的の特定」の範囲外において第三者に提供することはありません。ただし、本学関係諸機関（北海学園大学同窓会、北海学園生活協同組合、北海学園教職員組合）へは、本人の氏名、学部、学科、学年、学生番号、住所、郵便番号、電話番号等をそれぞれ提供し、ダイレクトメールによる案内に利用します。

◆ (本人の同意)

利用目的外で学生の個人情報を扱う場合には、その都度本人の同意を得るようにいたします。

◆ (個人情報の開示・訂正・利用停止等措置)

個人情報を開示することにより、本学の業務に著しい支障が生ずる恐れがある場合を除き、本人からの求めに応じて個人情報を開示するとともに、必要に応じて個人情報の訂正、削除等を行います。

◆ (苦情処理対応)

本人から、自己に関する個人情報の苦情等の申出があった場合、適切かつ迅速に処理します。

出願書類（本学所定の用紙）一覧

書 類	修士課程				博士（後期）課程		
	一般		社会人特例		一般	社会人特例	外国人
	外国人		外国人				
受 験 票	○（修士 共通）				○（博士 共通）		
入 学 願 書	○	○	○	○	○	○	○
志 願 理 由 書	○（修士 共通）				○（博士 共通）		
研 究 計 画 書	○（修士 共通）				○（博士 共通）		

* 出願先・出願資格によって、この一覧表以外に必要な書類があります。必ずこの募集要項を熟読した上で、出願書類に不足のないよう提出してください。

取扱銀行の方へ

入学検定料の領収印は、右記の①から③の他に、別紙「北海学園大学大学院入学願書」にもあります(④)。

お手数ですが、④の欄にも必ず押印くださいますようお願いいたします。

志願者へ

入学検定料を振り込む際は、別紙「北海学園大学大学院入学願書」を必ず持参すること。

2024年度
北海学園大学大学院経済学研究科

『入学検定料』 領収書 A

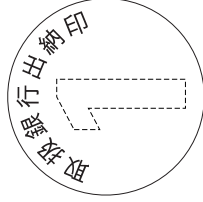
金額	円	十	百	千	万
	0	0	0	0	3
振込先銀行口座					
北洋銀行豊平支店					
普通口座番号					
1018454					
北海学園大学(ホツカイガイクエンジニアガク)					
手数料					

振込み金額領収致しました。
(取扱銀行)

銀行
支店

志願者 氏名	
-----------	--

本書をもって入学検定料の領収とします。
北海学園大学大学院経済学研究科



(本人保管)

北海学園大学大学院経済学研究科

2024年度
北海学園大学大学院経済学研究科

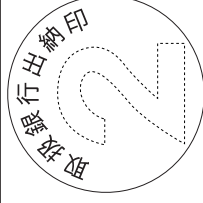
『入学検定料』 振込通知書 B

金額	円	十	百	千	万
	0	0	0	0	3
振込先銀行口座					
北洋銀行豊平支店					
普通口座番号					
1018454					
北海学園大学(ホツカイガイクエンジニアガク)					

上記のとおり振込みましたのでご通知申し上げます。

入学検定料 30,000円
(内訳)

フリガナ 志願者 氏名	
住所〒	
〒 () - -	



(取扱銀行→振込先銀行→北海学園大学)

北海学園大学大学院経済学研究科

2024年度
北海学園大学大学院経済学研究科

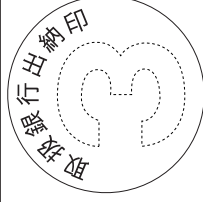
『入学検定料』 振込依頼書 C

金額	円	十	百	千	万
	0	0	0	0	3
振込先銀行口座					
北洋銀行豊平支店					
普通口座番号					
1018454					
北海学園大学(ホツカイガイクエンジニアガク)					
手数料					

〈取扱銀行へお願い〉

* 出納印は、領収書A・振込通知書B・振込依頼書Cの3カ所の他に、願書の検定料領収欄にも押印してください。

フリガナ 志願者 氏名	
住所〒	
〒 () - -	



(取扱銀行保管)

北海学園大学大学院経済学研究科

取扱銀行へお願い

1. 振込通知書は、取りまとめ銀行へ、必ず**電信扱い**で当日中に急送してください。

2. 組戻し請求には、絶対**応じない**ようお願いします。この場合は、大学へ申し出るようご指示ください。

3. 取扱銀行出納印が4カ所ありますので、お手数ですが、押印洩れのないようお願いします。

経済学研究科 検定料受付期間

修士課程

第I期	2023年8月28日(月)～ 9月11日(月)
第II期	2024年1月10日(水)～17日(水)

博士(後期)課程

2024年1月10日(水)～17日(水)

振り込みの注意

1. 振込金額は、入学検定料30,000円です。最寄りの銀行または信用金庫より振り込んでください。

2. 出納印のない願書は検定料未納とみなし、受け付けませんので注意してください。

3. 振込手数料は、北洋銀行の本支店では無料ですが、他行では有料となるので窓口で確認してください。

2024年度 経済学研究科 修士課程受験票

選 抜 区 分 該当区分の () 内に○印		受 験 番 号	写 真
() 一般選抜・推薦選抜 () 社会人特例選抜 () 外国人留学生選抜		※	写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの
氏 名	フリガナ		
筆記試験	専門科目 (指導希望教員担当科目)		受 付 印

- 備考 (1) ※欄は、記入しないこと
(2) 試験開始10分前には着席すること

北海学園大学大学院経済学研究科

2024年度 経済学研究科 博士(後期)課程受験票

選 抜 区 分 該当区分の () 内に○印		受 験 番 号	写 真
() 一般選抜 () 社会人特例選抜 () 外国人留学生選抜		※	写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの
氏 名	フリガナ		
専門科目	専門科目 (指導希望教員担当科目)		受 付 印

- 備考 (1) ※欄は、記入しないこと
(2) 試験開始10分前には着席すること

北海学園大学大学院経済学研究科

受 験 心 得

- (1) 受験生は試験開始15分前までに、指定の受験生控室に集合すること。
- (2) 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験を認めない。
- (3) 試験開始後30分までは、退室を認めない。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

試験期日・試験科目及び時間

第Ⅰ期	2023年10月4日(水)
第Ⅱ期	2024年2月17日(土)
外国語	9:30～11:00 (一般:日本人)
専門科目	11:10～12:40 (一般:日本人・外国人留学生)
口述試験	: ~ (全受験者)

一般選抜のうち、本学経済学部出身の受験者(外国人含む)で、特に成績の優秀な者、または出願書類として卒業論文等を提出した者は口述試験のみ

受 験 心 得

- (1) 受験生は試験開始15分前までに、指定の受験生控室に集合すること。
- (2) 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験を認めない。
- (3) 試験開始後30分までは、退室を認めない。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

試験期日・試験科目及び時間


2024年2月17日(土)	
外国語	9:30～11:00 (日本人)
専門科目	11:10～12:40 (日本人・外国人留学生)
口述試験	: ~ (日本人・外国人留学生)

本学経済学研究科修士課程を修了した者(外国人含む)は口述試験のみ

受験番号		2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科入学願書			(一般選抜・推薦選抜用)	
*						
修士課程		経済学研究科	経済政策専攻	氏名	フリガナ	男女
				(西暦)	年 月 日生	(歳)
現住所	〒 ー ー			自宅:	ー ー	写真貼付欄 (4cm×3cm) 单身、正面、上半身 無帽のもの
				携帯:	ー ー	
本籍地	都道府県	居住地または勤務先からの通学手段・時間を簡潔に記入				
合格通知先	〒 ー ー			自宅:	ー ー	
学歴	年 月～ 年 月			高等学校	卒業見込	
	年 月～ 年 月			大学	学部 学科	
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
職歴	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					

入学後指導希望教員名	
筆記試験専門科目 (指導希望教員担当科目)	
学部のゼミナール	
学部の時の研究内容	
課程修了後の進路について (就職・進学等の希望・計画について)	

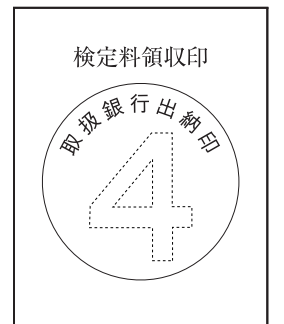
検定料領収印



備考 ※欄は記入しないこと

受験番号		2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科入学願書			(社会人選抜用)	
*						
修士課程		経済学研究科	経済政策専攻	氏名	フリガナ	男女
				(西暦)	年 月 日生	(歳)
現住所	〒 ー			自宅:	ー ー	写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの
				携帯:	ー ー	
本籍地	都道府県	居住地または勤務先からの通学手段・時間を簡潔に記入				
合格通知先	〒 ー			自宅:	ー ー	
				携帯:	ー ー	
学歴	年 月～ 年 月	高等学校			卒業見込	
	年 月～ 年 月	大学	学部	学科	卒業見込	
職歴	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
職歴	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					

入学後指導希望教員名		
長期履修について (どちらかに○をつけること)	申請する	申請しない
学部のゼミナール		
学部の時の研究内容		
課程修了後の進路について		



備考 ※欄は記入しないこと

2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科（外国人留学生用）入学願書

受験番号	修士課程	経済学研究科	経済政策専攻
*			

1 姓名	漢字	カタカナ	アルファベット表記
2 生年月日	(西暦) 年 月 日生 (歳) 男・女	写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの	
3 国籍			
4 現住所			
電話番号	自宅： — — 携帯： — —		
メールアドレス	@		

5 学歴

	学 校 名 及 び 所 在 地	在学 期間	入 学 年 月	卒 業 年 月	専 攻 科 目	学 位 の 種 類
初等教育 (小学校)	学校名 所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
中等教育 (中学校)	学校名 所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
高等教育 (高校)	学校名 所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
大 学	学校名 所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		

6 職歴

勤 務 先 及 び 所 在 地	勤 務 期 間	役 職 名	職 務 内 容
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		

7 これまでに専攻した専門分野（できるだけ具体的に記入すること）

8 指導希望教員・受験する専門科目

入学後指導希望教員名	指導希望教員担当科目

9 受験生本人以外の連絡先（日本国内）

フリガナ		受験生 との 関係	
氏 名			
現住所	〒 — —	自宅： — — 携帯： — —	
職 業		勤務先	TEL： — —

検定料領収印



備考 ※欄は、記入しないこと

受験番号		2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科入学願書			(一般選抜用)		
*							
博士(後期)課程		経済学研究科	経済政策専攻	氏名	フリガナ	男女 年齢	
				(西暦)	年 月 日	生 (歳)	
現住所	〒 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー 方			自宅:	ー ー	写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの	
本籍地	都道府県	居住地からの通学手段・時間を簡潔に記入			携帯:		ー ー
合格通知先	〒 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー 方			自宅:	ー ー		携帯:
学歴	年 月～ 年 月		高等学校 卒業				
	年 月～ 年 月		大学	学部	学科 卒業		
	年 月～ 年 月		大学	研究科	課程 専攻 修了 修了見込		
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
職歴	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						

入学後指導希望教員名					
筆記試験専門科目 (指導希望教員担当科目)					
修士論文のテーマとその内容					

検定料領収印



備考 ※欄は記入しないこと

受験番号		2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科入学願書				(社会人特例選抜用)	
*							
博士(後期)課程		経済学研究科		経済政策専攻		氏名 (フリガナ) (西暦) 年 月 日生 (男女歳)	
現住所	〒 ー ー 方			自宅: ー ー 携帯: ー ー		写真貼付欄 (4cm×3cm) 単身、正面、上半身 無帽のもの	
	本籍地	都道府県		居住地または勤務先からの通学手段・時間を簡潔に記入			
合格通知先	〒 ー ー 方			自宅: ー ー 携帯: ー ー			
学歴	年 月～ 年 月			高等学校		卒業	
	年 月～ 年 月			大学		学部 学科 卒業	
	年 月～ 年 月			大学 研究科		課程 専攻 修了/了見込	
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
職歴	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
入学後指導希望教員名							
筆記試験専門科目 (指導希望教員担当科目)							
長期履修について (どちらかに○をつけること)		申請する		申請しない			
修士論文のテーマとその内容							
						検定料領収印 取扱銀行出納印 4	

備考 ※欄は記入しないこと

2024年度 北海学園大学大学院経済学研究科（外国人留学生用）入学願書

受験番号	博士(後期)課程	経済学研究科	経済政策専攻
*			

	漢字	カタカナ	アルファベット表記
1 姓名			
2 生年月日 (西暦)	年	月	日生 (歳) 男・女
3 国籍			
4 現住所			
電話番号	自宅: — —	携帯: — —	
メールアドレス	@		

写真貼付欄
(4cm×3cm)

単身、正面、上半身
無帽のもの

5 学歴

	学 校 名	及 び 所 在 地	在 学 期 間	入 学 年 月	卒 業 年 月	専 攻 科 目	学 位 の 種 類
初等教育 (小学校)	学校名	所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
中等教育 (中学校)	学校名	所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
高等教育 (高校)	学校名	所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
大学	学校名	所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		
大学院	学校名	所在地	年	入学 年 月	卒業 年 月		

6 職歴

勤 務 先 及 び 所 在 地	勤 務 期 間	役 職 名	職 務 内 容
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		

7 これまでに専攻した専門分野（できるだけ具体的に記入すること）

--

8 修士論文のテーマとその内容



備考 ※欄は、記入しないこと
裏面あり

9 指導希望教員・受験する専門科目

入学後指導希望教員名	指導希望教員担当科目

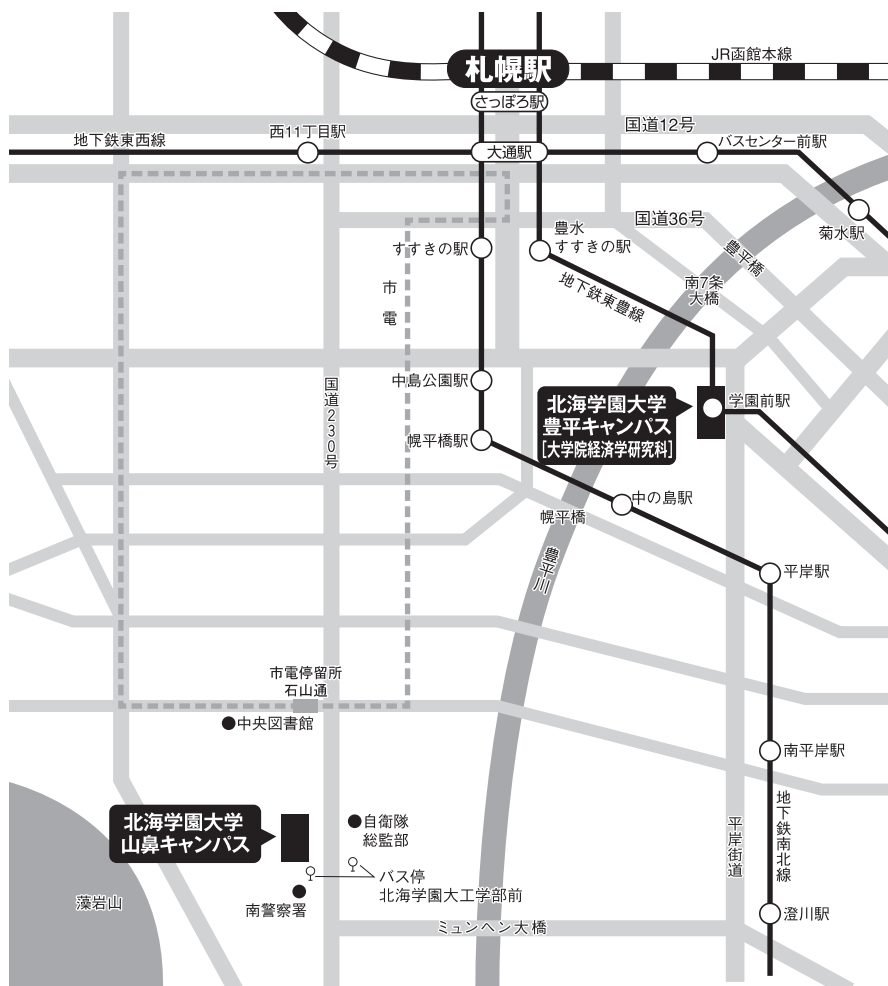
10 受験生本人以外の連絡先（日本国内）

フリガナ		受験生との 関係	
氏名			
現住所	〒 ー		自宅： ー ー 携帯： ー ー
職業		勤務先	TEL： ー ー

研 究 計 画 書

フリガナ		課 程	()内に○印	受 験 号	※
氏名			() 修 士 課 程 () 博 士 (後期) 課 程		
〔修士〕 卒業論文主題目 (卒業論文のある者) 〔博士〕 出願書類(6)で提出した主題目					
研究計画					

備考 (1)※欄は記入しないこと
 (2)社会人特例選抜で長期履修を希望する場合、その旨簡記したうえで作成すること
 (3)記載により用紙に不足が生じる場合には、予めコピーをした上で追加使用すること



北海学園大学大学院経済学研究科

豊平キャンパス

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話(011)841-1161(代)
 (地下鉄東豊線「学園前」駅直結、「さっぽろ」駅より6分)